

Japanese College 福山 自己点検・評価アンケート

A: 達成されている
B: ほぼ達成されているが一部不十分なところがあり～
C: 努力しているが、達成しているとは言えない
D: 改善が必要

1. 理念・教育目標		評価
1-1	〈理念〉 日本に対して理解の深い優秀な人材になり、日本社会あるいは世界で活躍できる人材になるよう日本語教育を通じ最大限サポートする	B
1-2	〈教育目標〉 実践的な日本語能力の獲得を目標とします。進学に必要な日本語能力向上に焦点を置き、実際のコミュニケーション活動を重視した教育を行う	A
1-3	〈めざす学生像〉 日本の習慣を身に付け、日本社会から歓迎される人材の育成	A
1-4	理念・教育目標及びめざす学生像が社会のニーズに合致している	A
1-5	理念・教育目標及びめざす学生像が、教職員及び学生に周知されている	A
現状・具体的な取り組み・課題 学生によって理解や適応に個人差があるため、日本語教育において日本のルールや生活習慣に適応がやや難しい学生がいる場合には速やかに面談し、家族と連携しながら適切な指導を行うよう努めている。		

2. 学校運営		評価
2-1	認定日本語教育機関の認定基準に適合している	A
2-2	運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている	B
2-3	職務分掌と責任が明確にされている	B
2-4	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である	B
2-5	外部からの情報収集が効率的に行われ、共有できる仕組みがある	B
2-6	学生、入学志願者及び経費支弁者が理解できる言語で情報提供をしている	A
2-7	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している	A
2-8	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、組織的に行われている	B
現状・具体的な取り組み・課題 教務と事務との連携を図りながら現場の意見を吸い上げて運営に反映させるようにしている。		

3. 教育活動		評価
3-1	理念や教育目標に沿ったカリキュラムが体系的に編成されている	A
3-2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確、かつ適切に運用されている	A
3-3	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている	A
3-4	教職員の評価を行っている	A
3-5	学生による授業評価を定期的実施している	A
3-6	教員の指導力向上のための取り組みが行われている	A
現状・具体的な取り組み・課題 カリキュラムに沿って授業を実施し、成績評価や進級基準は教員間で共有し適切に運用している。教員間の相互評価や授業観察、年度末の授業アンケートを通じて授業改善に取り組んでいる。学生のレベル差への対応は今後の課題であるが、教育活動全体は安定して実施されている。		

4. 学修成果		評価
4-1	入学や修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している	A
4-2	修了・卒業の判定を適切に行っている	-
4-3	日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している	-
4-4	卒業または修了後の進路を把握している	-
4-5	学内試験結果の情報を教職員では共有している	A
現状・具体的な取り組み・課題 4-2～4-4については卒業生がまだいないため、現時点では点検・評価の対象に該当しない。学習記録は学内で適切に入力・保管しており、学内試験結果も教務会議等を通じて教員間で共有している。		

5. 学生支援		評価
5-3	住居支援を行っている	A
5-4	アルバイトに関する指導及び支援を行っている	A
5-5	健康、衛生面について指導する体制を整えている	A
5-6	学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している	A
5-7	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している	A
5-8	危機管理体制を整備している	A
5-9	日本社会を理解し、適応するための取組を行っている	A
5-10	入国・在留関係の管理・指導が適切に行われている	A
現状・具体的な取り組み・課題 入国時に学生全員へ交通・法律・生活に関するオリエンテーションを実施し、日本で安全かつ安心して留学生活を送れるよう支援している。また、在籍中も必要に応じて生活面の指導や相談対応を行い、日本社会への適応を継続的にサポートしている。		

6. 教育環境		評価
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されている	A
6-2	授業時間外に自習できる部屋を確保している	A
6-3	教育内容及び学生数に応じた図書が整備され、常時利用可能である	A
6-4	教育及び職員の執務に必要なスペースを確保している	A
現状・具体的な取り組み・課題 本校では、教育上必要な施設・設備を計画的に整備し、学生が学習に集中できる環境を確保している。図書室には日本語学習に必要な書籍と自習スペースを整え、授業時間外の学習機会を保障している。また、教室についても席の配置や動線を工夫し、授業運営に適した環境づくりに努めている。これらの環境整備は教育内容や学生数に応じて見直しを行い、安定した教育環境の維持に取り組んでいる。		

7. 学生募集		評価
7-1	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している	A
7-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている	A
7-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている	A
7-4	海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している	A
7-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている	A
7-6	学生情報の正確な把握、かつ、提出書類による確認を行っている	A
7-7	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている	A
現状・具体的な取り組み・課題 入学選考基準を明確化し、職員が必ず同席をして適切な体制で入学選考を行っている。		

8. 財務		評価
8-1	財務状況は中長期的に安定している	-
8-2	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっている	-
8-3	適正な会計監査が実施されている	-
8-4	海外の募集代理人(エージェント等)に支払う仲介手数料は適正である	B
現状・具体的な取り組み・課題 8-1～8-3については、まだ完成年度を迎えていないため、財務状況は安定するほどには至っていないが、今後安定するように努めていく。 会計監査に関しては会社の顧問税理士が実施し、助言をいただいている。 エージェントについては比較検討しながら適切に行われるようにしていく。		

9. 法令遵守		評価
9-1	法令遵守に関する担当者を特定している	A
9-2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている	A
9-3	個人情報保護のための対策を取っている	A
9-4	関係省庁への届け出、報告を遅滞なく行っている	A
現状・具体的な取り組み・課題 顧問弁護士事務所の弁護士と社会保険労務士と密に連携して、法令遵守を図れるように努めている。		

10. 社会貢献		評価
10-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献を行っている	C
10-2	学生ボランティア活動への支援を行っている	C
現状・具体的な取り組み・課題 現状では社会貢献活動や学生ボランティア支援は未実施であるが、今後、地域のボランティア情報等を収集し、学生に共有することで参加機会を提供していきたいと考えている。地域で行われるお祭り等に参加予定である。日本の伝統文化に触れ、自国の情報発信の場にしていく。		